

ちば里山新聞

（第 75 号）
編集発行 NPO 法人ちば里山センター
袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148
☎ 0438-62-8895
題 字 倉島 貴浩
（ワークホーム里山の仲間たち）

6月12日令和7年度ちば里山センター総会開催！

6月12日（木）千葉中央大ホール第一会議室にて令和7年度ちば里山センター総会が開催されました。会員数96名のうち73名が出席（うち委任状42名）でした。加藤茂男理事による進行で、佐藤孝之理事長の挨拶の後、議長にいちば里山クラブ芦川義勝氏が選出され、第1号議案令和6年度事業報告並びに収支決算報告及び監査報告、続いて第2号議案令和7年度事業計画（案）並びに収支予算（案）が審議され、賛成多数にて承認されました。



次に第3号議案では退任理事として尾形孝和氏、萩野茂氏、掘工ミイ氏3名が伝えられ、新任理事として遠藤良太氏、鴨川里山を守る会高橋良雄氏、子育てステーションニッセ中村令子氏、いすみ薪ネットワーク平島健一氏、やまのね松浦裕子氏、行々林^{オドロバヤシ}せせらぎの森横山誠司氏6名が選出されました。新理事の紹介は次ページをご覧ください。



懇親会の様子

総会終了後には同じ会場で懇親会が行われ、令和6年度の活動支援金を受けた会員団体を皮切りに、各団体の活動の近況、今後の抱負、新たな森づくりの試み、世代交代の難しさなど、さまざまな始点からその思いを語りました。

会場の盛り上がりとともに、いつしか会場には、あちこちに人の輪ができ、情報交換、意見のやり取りが続きました。

反省点としては、活動支援金団体の活動報告については、もう少し落ち着いた雰囲気の中で実施すべきとの指摘があり、来年度に生かしたいと思います。



満面の笑みの懇親会参加者 写真は桜宮自然公園をつくる会・湯澤一夫氏提供

新理事の紹介

写 真	名 前	紹 介 文	所 属
	えんどう りょうた 遠藤 良太	苦手なことは整理整頓、嫌いなことは夏に靴下を履くこと、好きなことは時間を無駄に過ごすことです。「真面目にコツコツやる！」を目指していますのでよろしくお願いします。自慢は、十数年前に日本(世界)で初めてスギ・ヒノキ用自動花粉散布機「ゴーリキさん」を開発し発表したことです(実用化まで至りませんでした。名前は剛力彩芽さんに因んで。)	千葉大学 客員研究 員
	たかはし よしお 高橋 良雄	この度理事に選任されました、鴨川里山を守る会会長の高橋良雄です。君津市生まれの74歳、鴨川市在住です。森林作業が好きなものでボランティア活動に携わっています。よろしくお願いします。	鴨川里山 を守る会
	なかむら りょうこ 中村 令子	千葉市若葉区にあるニッセの森という小さな森で、木育による、親子の森づくりプログラムを行っています。千葉県木育コーディネーター協会代表理事も兼ね、千葉の木育に心血を注いでおります。ご指導の程、どうぞよろしくお願いいたします。	子育て支 援ステー ションニ ッセ
	ひらしま けんいち 平島 健一	いすみ薪ネットワークに所属しています、平島と申します。ちば里山センターには岡部塾を始めとするチェンソーの講習でお世話になっていました。 これからも安全に活動したいと考えています。よろしくお願いします。	いすみ薪 ネットワ ーク
	まつうら ひろこ 松浦 裕子	山武市にて台風等で荒れてしまった私有林の整備活動をしています。最近畑も始めました。草刈りや丸太の運搬は大変ですが森の変化は面白く、様々な発見があります。食べられる植物を見つけるのが好きです。一緒に活動する仲間も募集中です！ よろしくお願いいたします。	やまのね
	よこやま せいじ 横山 誠司	船橋市北部に位置する谷津田が主な活動場所です。地域に残された田畑・雑木林・竹林・せせらぎ・農道などの里山の景観保全に携わって5年になりますが、仲間と協力して少しずつ活動内容も広げていければと考えています。	おどろばやし 行々林 せせらぎ の森

伐木業務(チェーンソー)に係る特別教育がむつみの森等で開催

伐木業務(チェーンソー)に係る特別教育が6月7、8、14日と3日間にわたり開催されました。これは林業・木材製造業労働災害防止協会千葉県支部とちば里山センターが連携して企画したもので、受講しやすいように土日実施としたものです。

6月7日(土)と8日(日)の午前中は学科講習(八千代市睦公民館)で、チェーンソー作業の安全確保に関する基本的事項について、豊富な具体的事例を交えてじっくりと学びました。



学科は睦公民館で実施



林災防 森浩也講師

6月8日(日)の午後、6月14日(土)は実施講習(むつみの森)で、伐木等作業に関することでは、安全装具としてイヤーマフ付きヘルメット、必要な防護衣としてチャップス等、伐木等作業での諸注意と伐倒の際の合図について説明がありました。森講師からは豊富な事例を交えて一つ一つの確認事項の必要性が分かりやすく説明されました。

チェーンソーの取り扱いについては、燃料とチェーンオイルの関係、始動方法、日常点検と目立て方法などの説明があり、伐木等作業では安全な木処理の方法について具体的な説明がありました。



枝払いを模しての練習



受け口、追い口を正確にいれる

実技指導では一人一人に丁寧な指導があり、枝払いの際のポジションの取り方を。丸太材を使った実際の玉切り作業では上切り、下切り、フック切り、水平切りを学びました。

最後に正確な受け口作りと追い口切りを学び、森講師より伐木等終了証が受講者に手渡されました。

次回の講習は、10月4日(土)、5日(日)、11日(土)の3日間です。土日での受講可能な貴重な機会ですので、ぜひご利用ください。

場所は、千葉県木材市場(東金市)で、東金有料道路山田インターから車で数分の場所です。問い合わせはちば里山センターへ。

東葛里山シンポジウム 1st、松戸市で開催へ

里山センターでは令和7年度から里山カレッジを衣替えし、東葛里山シンポジウムを開催します。これまで里山カレッジは県内全域を対象に行ってきましたが、これからは都市部に近接した東葛地域で活動する里山団体に焦点を当てたシンポジウムを開始することにしました。松戸市の里やま応援団などいろいろな地域の里山団体で若い世代が活動に参加し始めています。そのあたりの事情を紐解きます。

東葛里山シンポジウム 1st 「里山への思いを語る 50代以下の里山デビュー」

開催日: 10月26日(日) 10:00~16:00

開催地: 10:00~12:00 紙敷みなみの森、野うさぎの森、石みやの森(里山視察)

14:00~16:00 東葛里山シンポジウム 1st 於: 稲台市民センターホール

里山じまん ㉑

桜宮自然公園をつくる会

「桜宮自然公園」(多古町)

公園は染井・井戸山地区の約 4.2 万㎡の面積の谷津田と山林の私有地です。2000 年当時、公園内は雑草や篠竹などが生い茂り、廃家電等のゴミが大量に不法投棄されたゴミ捨て場でした。

多古町産コシヒカリの「多古米」は江戸時代に徳川幕府に献上、1963 年には天皇陛下献上米に選定され、1971 年の「全国自主流通米品評会」では「食味日本一」に選ばれた「高級ブランド米」です。当公園の隣接地に産業廃棄物処理の工場が計画されました。工場の煙突から排出されるダイオキシン等の



産廃工場予定地入り口の看板

京都や神奈川県からの団体も来園しています。



多古町小学校 3・4 年生による稲田の草取り

汚染物資は、風評被害で特に「多古米」のブランドにも影響が及ぶことが懸念され、町を挙げての「産廃工場建設反対運動」を起こしました。

2001 年に「桜宮自然公園をつくる会」を発足させ、住民の有志、町議会、NPO 団体等の支援を得て工場建設の申請は「塩漬け」(棚上げ)になっています。毎年、地元の小学生が授業として「稲作体験」、「山林の散策」、「どんぐり拾い」で来園します。一般の方の「稲作体験」も募集して東

「桜宮自然公園をつくる会」湯澤一夫

~~~~~

ちば里山センターでは、里山整備を通じて環境問題や、地域の課題、子どもの教育に取り組んでいる団体を支援しながら SDGs で県民に親しまれる豊かな森づくりに取り組んでいます。



ちばSDGs

～ちば SDGs パートナー 2386 号～

~~~~~ つれづれごと 新~~~~~

ちば里山センター総会では参加団体から色んな意見が語られ懇親会でも盛り上がりました◆今年度は新任理事が 6 名加わることで、何か新しい試みが出来そうなので期待するところあります◆暑い夏に向かい熱中症に気を付けながら里山活動もほほどに頑張りたいと思います。(Y.A)

里山の風にゆられて ㉓



ヤマユリ<山百合>ユリ科ユリ属

日本特産のユリで北陸地方を除く本州の近畿地方以北に分布し、風通しの良い半日蔭の山地に自生します。豪華な花姿と甘い芳香は、さすがに百合の女王といえます。なお袖ヶ浦市では市の花となっています。

写真・文 赤松義雄 R7.7.10 袖ヶ浦市神納

入会申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148 ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896(平日 9:00~17:00)

E-mail info@chiba-satoyama.net ホームページ <http://chiba-satoyama.net/>